

平成25年度

第7回

in滋賀

近畿「子どもの水辺」交流会

びっくり わくわく こうりゅうかい びわ湖で思いっきり楽しもう！

開催結果報告

平成25年11月23日（土）に、近畿各地の小・中学生約200人、一般参加者や関係者も含めると総勢約500人が大津港に集合し、大型客船「ビアンカ」と学習船「うみのこ」で交流会を開催しました。

参加者は、5つのグループに分かれ、「ビアンカ」では、学校や地域で取り組んでいる身近な水辺での活動や体験を熱い想いを込めて発表し、「うみのこ」では、琵琶湖の北湖と南湖を比べる実験などの体験活動をしました。その後の全体交流会では、滋賀県の嘉田知事も参加され、参加者全員で琵琶湖について話し合い、琵琶湖を守るために大事なことをみんなで共有することができました。

今回の交流会は、エコクラブの指導者を中心としたベテランスタッフと、小学生の頃から水辺活動に携わってきた大学生を中心とした若手スタッフが協力して企画し、当日は若手スタッフ主体で運営をしました。

参加した子ども達は、近畿各地から集まった水辺の仲間たちと交流し、若手スタッフのお兄さん、お姉さん達からたくさん学び、楽しく有意義な1日を過ごしました。

交流会の概要…近畿「子どもの水辺」交流会は、次世代を担う子どもたちや地域住民のみなさま方に「水辺」への関心・愛着を高めていただき、子どもたちの水辺活動の継続・広がりを図るとともに、上下流・府県間の交流など水辺に関わる方々の交流を深めるため、様々な視点から水辺との関わりや活動について発信していただく機会として、平成19年度から毎年開催しています。



主催／近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

（近畿府県の水辺活動団体等、近畿の学生、近畿地方整備局、近畿各府県等、河川財団、近畿建設協会）

後援／近畿農政局、近畿地方環境事務所、近畿各府県教育委員会、近畿各政令市、

近畿各政令市教育委員会、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

○（公財）河川財団（河川整備基金）、（一社）近畿建設協会、滋賀県（マザーレイク応援寄付金）から助成を受けています。

第7回 近畿「子どもの水辺」交流会 概要

日時 場所

平成25年11月23日(土) 10:00～16:00
 大津港～琵琶湖 (大型客船「ピアンカ」、学習船「うみのこ」の船上)
 (大津港：滋賀県大津市浜大津5丁目1番1号)



内容

- 【第1部】開 会 式：大津港ターミナルで開会宣言、乗船・進行説明
- 【第2部】現 地 体 験 交 流 会：学習船「うみのこ」に乗って、琵琶湖の北湖と南湖の水を比べる実験やプランクトン観察、琵琶湖展望
- 【第3部】グループ別交流会：5グループに分かれて参加者による水辺の活動発表
- 【第4部】全体交流会・閉会式：参加者全員が集まり、「今日の体験活動で感じたこと」や「ステキな琵琶湖を守るために一番大事なこと」について意見交換
- 【第5部】体験交流プログラム：「水辺」に関する展示作品や「水」に関する実験、琵琶湖の伝統食の食体験、よし笛コンサート、移動博物館、魚の展示など

兵庫県

- アシレンジャー
- 自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ
- 三田市立武庫小学校
- 玉ーアクアリウム(玉津第一小学校)
- 三浦 悠里
- れいんぼう☆キッズ
- 神戸市立菅の台小学校3年生
- 神戸市立高丸小学校5年生
- 神戸市立垂水小学校

大阪府

- 石川子ども自然隊
- かわっばクラブ
- 川とあそぼう♪大和川クラブ
- エコロジー美園小
- 寝屋川市立成美小学校 飼育委員会
- 水辺の生き物発見隊

その他の参加

- 国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所
- タイの子どもたちの作品とインドネシアの村の子どもたちの環境学習(海外)

滋賀県

- NPO法人 蒲生野考現倶楽部
- 高島市立マキノ東小学校
- ホテルの学校
- TANAKAMI子ども環境クラブ
- 水のかけ橋エコクラブ
- 山内エコクラブ
- エコアイデアキッズびわ湖(アイキッズ)
- かもんずエコクラブ

京都府

- NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム
- 西京極児童館自然探検隊2004
- 木津川管内河川レンジャー活動に参加している子どもたち
・NPO法人 やましろ里山の会
木津川子ども部会
- 京都市立静原小学校
- 宇治市立広野中学校 科学部

奈良県

- 橿原市立畝傍中学校 科学部



●：発表25団体／○：展示6団体

第1部・第2部 開会式・現地体験交流会

■大津港ターミナルで開会式！

近畿各地から参加した25の学校や団体が、大津港ターミナルに集まりました。若手スタッフの南部佳奈さんの司会進行で始まり、実行委員会会長の宮嶋克幸さん（立命館守山高等学校教員）の開会宣言をもって、第7回近畿「子どもの水辺」交流会がスタートしました。

開会宣言に続いて、びわ湖フローティングスクールの方からの乗船説明と若手スタッフのリーダー小林慧人さんからの進行説明がありました。



宮嶋会長



開会式の様子



若手のスタッフ一同

■学習船「うみのこ」に乗って本格的に琵琶湖を体験

第2部では、滋賀県の小学5年生が1泊2日の環境学習をする学習船「うみのこ」に乗船し、現地体験交流会として3つのプログラムを体験しました。

★プランクトンウォッチング

琵琶湖の北湖と南湖で採取した水を使って、顕微鏡でプランクトンを観察しました。普段小さすぎて目には見えないけれど、たくさんの種類のプランクトンを見つけてくれました。中には琵琶湖にしかない「ビワクンショウモ」というプランクトンを発見したり、変な形のプランクトンを見つけて「何これー？」という子どももいました。



★うみのこ水調べ

琵琶湖の北湖と南湖で採取した水を使って、水の透明度を調べる実験をしました。うみのこ専用の水調べ器具を使って、水槽の横からのぞき込み、「湖の子」と黒色で書かれた文字が、水を通して何cmまで見えるかを測定しました。南湖の2.0~2.5mに対し、北湖は3m以上と、北湖の方がきれいであることが分かりました。



★琵琶湖展望

うみのこの3F前方甲板から、琵琶湖とその周りの景色を展望しました。船員さんからは、魚を捕まえる「エリ」や水質を調べる「自動観測所」のほか、周囲の山々、歴史などの説明があり、琵琶湖の中から実際の琵琶湖の匂いや風、大きさを肌で感じることができました。



各プログラムでは、若手スタッフから説明を聞いた後、熱心に取り組む姿が見られ、子ども達はたくさんの方に気づき、新しい発見をしました。

第3部 グループ別交流会

5つのグループに分かれて、グループ別発表会を行いました。まず、各グループで仲良くなってもらうためにアイスブレイク（ミニゲーム）を行いました。そして、緊張がほぐれたところで各コーディネーターの進行で、それぞれ工夫してまとめたポスターを使って、日頃の水辺での活動を発表しました。

中には、劇や、歌、遊びを取り入れた発表もありました。発表者には、「感想カード」を使ったたくさんの感想や質問が寄せられました。

Aグループ

- コーディネーター：小澤 元生さん
- サブ：小澤 真帆さん・吹田 万理さん



- ①川とあそぼう♪大和川クラブ (大阪府)
「きれいな大和川であそびたい」
- ②京都市立静原小学校 (京都府)
「静原のシンボル 静原川を美しくしてホタルを増やそう」
- ③かもんずエコクラブ (滋賀県)
「加茂の生き物は夏をどう過ごしたか」
- ④三田市立武庫小学校 (兵庫県)
「ピオトープづくりを通して」
- ⑤高島市立マキノ東小学校 (滋賀県)
「みつめよう ふるさとの水辺～マキノの水辺とカヌーの旅～」

- サポーター：中野 秀之さん・仁枝 洋さん



Bグループ

- コーディネーター：立花 道草さん
- サブ：山上 繁正さん・山本 賢樹さん

- ①自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ (兵庫県)
「猪名川・藻川からのすてきなおくり物」
- ②ホテルの学校 (滋賀県)
「大雨の中、生きぬくホテルや生きものたち、観察からわかったこと！」
- ③NPO法人子どもと川とまちのフォーラム (京都府)
「川や湖で遊び生物と触れ合う子ども達の体験から水環境を伝えたい」
- ④山内エコクラブ (滋賀県)
「いきものが帰り、よみがえる安心安全な農作物作りといきものみつけ」
- ⑤かわっぴクラブ (大阪府)
「歩遊伝！ 近木川伝説 BEST10!!
歩いて遊んで伝えよう 私たちの貝塚」

- サポーター：荒井 紀子さん・福本 吉雄さん



Cグループ

- コーディネーター：北野 大輔さん
- サブ：坂元 祐馬さん

- ①エコアイデアキッズびわ湖 (アイキッズ) (滋賀県)
「琵琶湖のめぐみを生かした伝統食文化を考え、固有種を守ろう！」
- ②三浦 悠里 (兵庫県)
「須磨のウミホテル」
- ③れいんぼう☆キッズ (兵庫県)
「福田川の生物・環境調べから地域を知ろう」
- ④寝屋川市立成美小学校 飼育委員会 (大阪府)
「～卵から成魚へ～ 地域を流れる古川の再生に挑む成美小飼育委員会」
- ⑤木津川管内河川レンジャー活動に参加している子どもたち・NPO法人やましろ里山の会木津川子ども部会 (京都府)
「木津川の川ガキたちで、遊び場・山城大橋ワンドを調査したよ！」

- サポーター：市川 勝己さん・山村 武正さん



Dグループ

- コーディネーター：川村 優太さん
- サブ：石田 真隆さん・山本 脩雄さん

- ①西京極児童館自然探検隊2004 (京都府)
「水辺の楽しさ再発見！こんな見つけました！」
- ②TANAKAMIこども環境クラブ (滋賀県)
「田んぼ・川・池・湿地の生き物調査＆環境保全を目指した絵本作り」
- ③アシレンジャー (兵庫県)
「住宅地を流れる川でも観察できる水辺の生き物たち」
- ④NPO法人蒲生野考現倶楽部 (滋賀県)
「わくわく探検隊による水の命の宝物探し」
- ⑤石川こども自然隊 (大阪府)
「川の生き物“あれっ ふしぎ”生きるひみつがいっぱい」

- サポーター：大脇 巧己さん・橋本 夏次さん



Eグループ

- コーディネーター：平塚 安さん
- サブ：矢下 詩織さん・徳村 さやかさん



- ①橿原市立畝傍中学校 科学部 (奈良県)「飛鳥川地域の河川生態系の調査研究と再生活動」
- ②エコロジー美園小 (大阪府)「私達の身近な水辺」
- ③宇治市立広野中学校 科学部 (京都府)「名木川の水質調査を通して、身のまわりの環境問題を考える」
- ④玉一アクアリウム (玉津第一小学校) (兵庫県)「ぼくたち、わたしたちの明石川魚類オリジナル図鑑」
- ⑤水のかけ橋エコクラブ (滋賀県)「滋賀県の里山と琵琶湖」をアジア太平洋諸国の人々へ伝える」

- サポーター：中村 聡子さん・谷 幸三さん



第4部 全体交流会・閉会式

■「ビアンカ」に乗って全体交流会

ビアンカ3Fの会場に全員集合し、第4部のファシリテーターの小林慧人さん（若手スタッフリーダー）と中村大輔さん（草津市立渋川小学校教員）の進行で、全体交流会がスタートしました。

まず最初に滋賀県の嘉田由紀子知事が紹介され、知事から「みなさんの面白い発想を期待してますよ」というあいさつがありました。

第1題

今日の体験プログラムを通して琵琶湖についてどんなことを感じましたか？

次に全体交流会で話す1題目「今日の体験プログラムを通して、琵琶湖についてどんなことを感じましたか？」というお題が出され、午前からのグループ毎で話し合いました。子ども達は感じたことを元気にたくさん発言してくれ、各グループのコーディネーターが、出た意見を全体に発表しました。

第2題

ステキな琵琶湖を守るために一番大事なことは何ですか？

次に2題目「ステキな琵琶湖を守るために一番大事なことは何ですか？」というお題が出されました。今度は各グループ一番大事なもの1つだけ、その理由とともに発表してくださいというものでした。

そこで、まず各グループでは、コーディネーターの進行のもと、大事なと思うことをたくさん出し合い、その後その中で一番大事なものはどれか、話し合いをして決めました。話し合いでは、全員の意見を聞くことができないくらいたくさんの子もが手を上げて、とても活発な話し合いができました。

2題目の発表は、各グループ代表の子どもが発表しました。



嘉田由紀子知事 中村大輔先生 小林慧人さん



1題目のグループでの話し合い



2題目のグループでの話し合い



全員での話し合い



「地域の人と協力してゴミを拾う」「琵琶湖にしかない生き物を守る」「ゴミや外来魚の問題をポスターを使って知ってもらおう」「琵琶湖は生きているということを忘れない」「愛する気持ち」の5つの意見が出ました。その後、その5つの中でどれが一番大事かを全員で話し合いました。子ども達からたくさんの手が上がり、自分はどれが一番だと思うかを発表しました。



この様子を見ていた嘉田知事から、「皆さんの意見は琵琶湖が抱えてきた問題をたった1日でカバーしていてすごい」という感想の後、「大切なものの価値」と「琵琶湖の保全計画」について説明があり、今日出た5つの意見どれもが大事であるとコメントされました。

最後にファシリテーターから、「今日は、普段水辺で活動しているからこそ、たった1日でも中身の濃い話し合いができたこと、近畿にはこんなにたくさんの仲間が水辺で活動していることを知ったこと、自分たちの活動を発表することでこれからの活動に自信が持てたことなどたくさんのおみやげがありました」と話があり、本日の活動・成果を讃え合いました。

○閉会式では、嘉田知事から閉会のあいさつの後、次回開催地である京都府の板屋理事からメッセージが伝えられ、交流会を閉幕しました。

第5部 体験交流プログラム

作品展示

★今回、展示で参加された団体のポスターや、海外からの作品などの展示を行いました。



体験・交流プログラム

★ピアンカ船内会場では、琵琶湖の固有種の魚の展示や、琵琶湖の湖魚を使った伝統食の試食、よし笛コンサート、浮力を使った体験コーナーなどが設けられ、たくさんの参加者で賑わいました。

ぷかぷか動く魚 ～浮沈子～ をつくろう (株式会社理化学研究所)

ペットボトルの中をぷかぷかと浮いたり沈んだりする魚。「ふちんし」といいます。「浮力」という力の働きで魚が上下に動きます。この不思議な魚を作ってみました。



琵琶湖の魚を見てみよう

(滋賀県立琵琶湖博物館)

琵琶湖には50種類以上の魚がいますが、その内15種類は琵琶湖にしかすんでいない固有種です。今回は、琵琶湖の固有種を代表する魚ニゴロブナとホンモロコ、イトコナマズを紹介しました。



琵琶湖の湖魚を使った伝統食の試食提供 (滋賀の食事文化研究会)

滋賀県の人々は、昔から琵琶湖の幸、魚介類を食べてきました。伝統食である「アメノイオご飯」「エビ豆」「小鮎の南蛮漬け」「シジミ汁」を食べていただき、食べ物が育まれる場所という新たな視線で琵琶湖を考えるきっかけになりました。



移動博物館がやってきた

(滋賀県立琵琶湖博物館)

移動博物館は琵琶湖地域の自然や歴史、人々の暮らしや文化などに関する移動型の展示キットです。直接触って体験してもらえたり、ものや実物サイズよりも拡大された模型を使って、形やしくみが理解できるように工夫されていました。



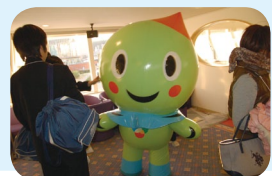
よし笛コンサートを聴いてみよう！ (minamo)

琵琶湖の湖面、水面（みなも）を渡る風のようにやさしいよし笛の音色を届けてくれました。滋賀の民話に琵琶湖で生まれたよし笛の音色を添え、お話も伝えてくれました。



キャッピーとうおーたん

滋賀県のマスコットである「キャッピー」と「うおーたん」も参加しました。



交流会のまとめ

■今日の体験プログラムを通して琵琶湖についてどんなことを感じましたか？

- 琵琶湖は広い。• 海みたい。• 波があった。• 滋賀県の6分の1と知ってびっくり。
- 風が強かった。• 思ったよりきれいだった。• プランクトンがたくさんいた。
- 釣りをしている人が多かった。• ゴミがあった。• 汚かった。• 自然に恵まれている。
- 山に囲まれている。• ビルが多かった。• 琵琶湖の水は遠くまで送られている。
- 場所によってきれいさが違う。• 小さな命があふれている。• 汚れの原因は人間。

■ステキな琵琶湖を守るためにいちばん大事なことは何か？（各グループ1つ）

A グループ：地域の人と協力してゴミを拾う。ゴミを捨てないように呼びかける。

B グループ：琵琶湖にしかない生き物を守る。

C グループ：ゴミや外来魚の問題をポスターを使って知ってもらう。

D グループ：琵琶湖は生きているということを忘れない。

E グループ：琵琶湖に対する愛する気持ち。

⇒どれも大事。みんなの水辺でも同じことが言えるね。この気持ちでこれからもがんばろう！

参加者の声

■発表した子どもたちの感想（一部）

- 発表は緊張したけど、自分の発表をみんなに聞いてもらえてよかった。
- いろんな発表を聞いて勉強になった。
- たくさんの人の感想を聞いてよかった。
- いろんな人たちと交流して友達ができた。
- 船（ビアンカ、うみのこ）に乗れて楽しかった。
- 琵琶湖が大きかった。琵琶湖の北湖と南湖の違いが分かってよかった。
- プランクトン観察や水の透明度調査などの体験学習が楽しかった。
- 琵琶湖の魚の試食がおいしかった。



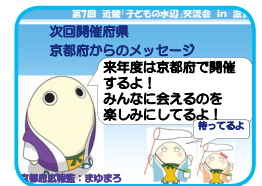
京都新聞 H25.11.24

第8回 近畿「子どもの水辺」交流会（予告）

■ 京都府にて開催予定！ ■

開催時期・内容等については、近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会にて検討中！

企画決定後、関係機関のホームページに掲載しますのでご覧ください。



お問い合わせ先

- 国土交通省 近畿地方整備局 河川部 地域河川課
TEL 06-6942-4407 FAX 06-6942-1867
- 福井県 土木部 河川課
TEL 0776-20-0480 FAX 0776-20-0696
- 滋賀県 土木交通部 流域政策局 河川・港湾室
TEL 077-528-4154 FAX 077-528-4904
- 京都府 建設交通部 河川課
TEL 075-414-5287 FAX 075-432-6312
- 大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課
TEL 06-6944-9293 FAX 06-6949-3129
- 兵庫県 県土整備部 土木局 総合治水課
TEL 078-362-9261 FAX 078-362-3942

- 奈良県 県土マネジメント部 河川課
TEL 0742-27-7504 FAX 0742-22-1399
- 和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課
TEL 073-441-3134 FAX 073-433-2147
- 三重県 県土整備部 河川・砂防課 河川計画グループ
TEL 059-224-2682 FAX 059-224-2684
- 公益財団法人 河川財団 近畿事務所
TEL 06-6942-2310 FAX 06-6942-2118
- 一般社団法人 近畿建設協会
TEL 06-6941-0174 FAX 06-6941-1742
- 大阪市 建設局 下水道河川部 河川課
TEL 06-6615-6839 FAX 06-6615-6583